



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 リケン

コード番号 6462 URL <http://www.riken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岡野 教忠

問合せ先責任者 (役職名) 管理部経理室長

(氏名) 中島 正郎

TEL 03-3230-3911

四半期報告書提出予定日 平成23年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	58,814	25.9	4,767	643.5	5,807	169.3	2,856	119.5
22年3月期第3四半期	46,708	△31.9	641	△77.6	2,156	△39.6	1,301	13.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	28.49	—
22年3月期第3四半期	12.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	79,111	45,947	54.6	431.00
22年3月期	80,912	44,829	52.5	423.45

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 43,220百万円 22年3月期 42,467百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	3.00	—	5.00	8.00
23年3月期	—	5.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,000	12.8	5,700	183.6	7,000	74.9	3,350	44.3	33.40

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 106,484,667株 22年3月期 106,484,667株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 6,204,428株 22年3月期 6,196,894株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 100,285,183株 22年3月期3Q 100,298,757株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出しており、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. その他の情報.....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要.....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書.....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における経済状況は、米国経済はやや上向き、中国を始めとするアジア経済は引き続き堅調でしたが、欧州経済はいまだ停滞中であり、中東の政情不安・豪州の天候不順等に起因する資源高騰の懸念が払拭できない不透明な状況となっています。

わが国の自動車業界におきましては、エコカー補助金打ち切り以降国内の自動車販売は落ち込みましたが、堅調な輸出に支えられ、第3四半期連結累計期間における自動車生産台数は、前年同四半期に比べ増加しております。

このような状況のなか、当第3四半期連結累計期間における売上高は58,814百万円(前年同四半期比25.9%増)、営業利益は4,767百万円(前年同四半期比643.5%増)、経常利益は5,807百万円(前年同四半期比169.3%増)、四半期純利益は2,856百万円(前年同四半期比119.5%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における総資産は79,111百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,801百万円減少しました。これは、現金及び預金が1,015百万円増加した一方、設備投資抑制及び減価償却進捗により有形固定資産が2,706百万円減少したこと等によるものです。

負債につきましては、33,164百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,918百万円減少しました。これは、支払手形及び買掛金が1,303百万円増加した一方、借入金が4,472百万円減少したこと等によるものです。

純資産につきましては、45,947百万円と前連結会計年度末に比べ1,117百万円増加しました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は54.6%となり、前連結会計年度末に比べ2.1ポイント増加しました。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、8,883百万円となりました。当第3四半期連結会計期間末における各キャッシュ・フロー状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益に加え、仕入債務増加等の資金増加要因があったこと等により、8,539百万円の資金増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備の増強・更新等、有形固定資産取得による支出があったこと等により、1,303百万円の資金減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは借入金の返済による純支出や配当金の支払いによる支出があったこと等により、5,741百万円の資金減少となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今期の見通しにつきまして、第3四半期連結累計期間における業績は堅調に推移しておりますが、引き続き円高による輸出への影響や資源価格高騰の影響等、不透明感を払拭できない状況が続くと見込まれるため、平成22年11月11日に発表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①会計処理に関する事項の変更

(1) 「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用
第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

これにより、期首利益剰余金は97百万円減少し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ9百万円減少しております。

(2) 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

②追加情報

第1四半期連結会計期間において、当社及び一部の国内子会社は、「ポリ塩化ビフェニル(PCB)廃棄物」に関して、包括的な調査を実施して処理方針を決定したことに伴い、その金額を合理的に見積ることが可能になったため、引当金を計上することとしました。

これにより、税金等調整前四半期純利益は481百万円減少しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,945	7,929
受取手形及び売掛金	19,345	18,965
商品及び製品	4,688	4,811
仕掛品	3,397	3,318
原材料及び貯蔵品	1,625	1,444
繰延税金資産	379	658
その他	807	822
貸倒引当金	△12	△12
流動資産合計	39,176	37,936
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	8,752	9,320
機械装置及び運搬具 (純額)	11,259	13,091
土地	2,595	2,564
建設仮勘定	575	776
その他 (純額)	706	842
有形固定資産合計	23,889	26,596
無形固定資産	297	369
投資その他の資産		
投資有価証券	7,714	7,516
繰延税金資産	3,689	4,297
前払年金費用	3,564	3,157
保険積立金	441	522
その他	412	593
貸倒引当金	△75	△77
投資その他の資産合計	15,748	16,009
固定資産合計	39,935	42,975
資産合計	79,111	80,912

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,220	11,917
短期借入金	8,941	8,003
未払法人税等	388	524
賞与引当金	835	1,623
その他	3,982	3,292
流動負債合計	27,368	25,362
固定負債		
長期借入金	3,771	9,181
繰延税金負債	2	2
退職給付引当金	1,005	1,010
役員退職慰労引当金	486	430
環境対策引当金	481	—
負ののれん	0	0
その他	48	96
固定負債合計	5,795	10,720
負債合計	33,164	36,082
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,573	8,573
資本剰余金	6,604	6,604
利益剰余金	34,978	33,223
自己株式	△2,904	△2,902
株主資本合計	47,251	45,499
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2	18
為替換算調整勘定	△4,034	△3,050
評価・換算差額等合計	△4,031	△3,032
新株予約権	49	42
少数株主持分	2,677	2,320
純資産合計	45,947	44,829
負債純資産合計	79,111	80,912

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	46,708	58,814
売上原価	38,658	46,358
売上総利益	8,050	12,455
販売費及び一般管理費	7,409	7,688
営業利益	641	4,767
営業外収益		
受取利息及び配当金	52	85
持分法による投資利益	664	955
生命保険配当金	134	119
受取ロイヤリティー	206	222
為替差益	13	—
助成金収入	522	36
その他	327	123
営業外収益合計	1,921	1,542
営業外費用		
支払利息	198	165
固定資産処分損	10	15
為替差損	—	170
その他	196	151
営業外費用合計	405	502
経常利益	2,156	5,807
特別利益		
固定資産売却益	7	76
投資有価証券売却益	0	—
貸倒引当金戻入額	9	5
特別利益合計	17	81
特別損失		
固定資産除却損	40	45
投資有価証券評価損	1	—
減損損失	17	88
貸倒引当金繰入額	—	3
環境対策引当金繰入額	—	481
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	14
その他	1	1
特別損失合計	61	634
税金等調整前四半期純利益	2,112	5,254
法人税、住民税及び事業税	529	813
法人税等還付税額	△93	—
法人税等調整額	△2	892
法人税等合計	434	1,706

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	—	3,548
少数株主利益	376	691
四半期純利益	1,301	2,856

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,112	5,254
減価償却費	3,795	3,639
減損損失	17	88
持分法による投資損益(△は益)	△664	△955
退職給付引当金の増減額(△は減少)	65	1
前払年金費用の増減額(△は増加)	△657	△406
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8	56
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6	△1
環境対策引当金の増減額(△は減少)	—	481
受取利息及び受取配当金	△52	△85
支払利息	198	165
為替差損益(△は益)	1	92
負ののれん償却額	△0	△0
投資有価証券評価損益(△は益)	1	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	—
固定資産除却損	40	45
固定資産売却損益(△は益)	△7	△76
売上債権の増減額(△は増加)	△1,210	△531
たな卸資産の増減額(△は増加)	△655	△273
仕入債務の増減額(△は減少)	790	1,486
未払消費税等の増減額(△は減少)	201	△166
その他	94	478
小計	4,086	9,292
利息及び配当金の受取額	573	349
利息の支払額	△248	△209
法人税等の還付額	804	133
法人税等の支払額	△469	△1,027
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,746	8,539
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△65
有形固定資産の取得による支出	△3,401	△1,554
有形固定資産の売却による収入	14	131
無形固定資産の取得による支出	△13	△32
無形固定資産の売却による収入	—	49
投資有価証券の売却及び償還による収入	0	—
投資有価証券の取得による支出	△19	△0
貸付けによる支出	△94	—
貸付金の回収による収入	47	89
その他の支出	△7	△15

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）
その他の収入	36	94
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,437	△1,303
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	11,111	3,900
短期借入金の返済による支出	△9,778	△7,962
長期借入金の返済による支出	△411	△410
リース債務の返済による支出	△73	△72
自己株式の取得による支出	△3	△2
配当金の支払額	△606	△1,005
少数株主への配当金の支払額	△57	△187
財務活動によるキャッシュ・フロー	181	△5,741
現金及び現金同等物に係る換算差額	66	△568
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,557	925
現金及び現金同等物の期首残高	5,709	7,928
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	28
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,266	8,883

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。